学校番号	３００２

令和三年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３	年次	３
使用教科書	「高等学校改訂版標準現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	「クリアカラー　国語便覧」（数研出版） 「新版漢検級別対応　チャレンジ常用漢字」（第一学習社） 「国語必携パーフェクト演習」（尚文出版）						

１ 担当者からのメッセージ

情報社会を生きる私たちに求められるものは、情報を適切に取捨選択し、内容を正確に理解し、活用していく力です。そして何よりも忘れてはならないことは、その先に「人」がいることです。我々はコミュニケーションなくして生きていくことはできません。適切なコミュニケーションをとるためには、相手の考えや思いを読み解く読解力、その中から必要な情報を取り出す分析力や判断力、そして自分の意見をよりわかりやすく伝えるための表現力が必要になっていきます。また、このすべてに共通して必要なのは、知識や語彙力を持ち合わせることです。この授業では、基本的な知識や語彙力を身につけられるよう、小テストやワークを行います。さらに教材を通して、読解力や分析力、表現力の育成を図ります。高校卒業後の進路選択においても必要な知識能力となります。自学自習を心がけましょう。

２ 学習の到達目標

・文章の論理的な構成を理解し、心情、情景、主張、考え方を正確に読み取る。
・目的に応じた表現方法を考え、創作的な活動をする。
・自分の意見を相手に伝え、他人の意見を聞くことで考えを深めることができる。
・進んで読書することによって、国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	自分の考えをしっかりとまとめ、相手や目的など場に応じた適切な表現による文章を書くことができる。	文章を的確に読み取り、その裏に隠されたものを多角的に読み解ることで、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化および言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
主たる評価方法	授業の受け方 ノート・提出物等の記述の点検	授業の受け方 発表等の発言の内容の点検	ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査	授業中の発表、ノート・提出物等の記述の内容の点検 定期考査	授業中の発言、提出物等の記述内容の点検 定期考査 小テスト

上に示した観点に基づいて、学習単元ごと・学期ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。評価は学習内容に応じて、それぞれの観点毎に適切な割合を案分して行います。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想	教材: 「食と創造力」 （随想の読解の仕方を習得する。）	○			◎	○	a:興味を持って読んでいる。 d:本文のタイトルの意味するところを理解している。 e:具体例が本文の展開にどのようにかかわっているか理解している。	a、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
	小説	教材: 「ひよこの眼」 (主人公の心情を整理する。)	○	◎		◎	○	a: 小説の内容とおもしろさを的確にとらえ、味わうことができている。 b:登場人物に共感するところ、違和感を覚えるところをまとめ、発表する。 d:回想形式で始まる構成の特徴を理解している。 e:正しく理解し、全文を正しく音読できる。	a、b、d: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査 e:小テスト
	評論	教材: 「物語を発現する力」 (論理的な文章を読解する。)	○	○	○	◎	○	a:物語を積極的に創造しようとしている。 b:創造した物語を発表することができる。 c:物語を創造したものを適切に書き取ることができる。 d:文章の構成を理解している。 e:慣用表現の意味について正しく理解している。	a、b、c、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
2学期	評論	教材: 「鏡としての他者」 (他者との関係の中で自己を考えるという視点から、自己について考える。)	○		○	◎	○	a: 筆者の主張を参考に、自己と他者との関係について考えようとしている。 c:本文を読み、適切に要約することができる。 d: 論の展開のしかたを理解している。 e: 指示語、接続語について正しく理解している。	a、c、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
	小説	教材: 「卒業」 (題名の意味するところを自身の生き方に引きつけて考える。)	○			◎	○	a: 主人公が置かれた状況を理解すると同時に、場面展開を理解し、主人公の心理変化を読み取ろうとしている。 d:情景描写や心理描写における表現方法・効果に着目し、より深い理解に結びつけられる。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査

	鑑賞文	教材: 「折々のうた」 （作品と鑑賞文との対応関係を理解する。）	○	○		○	○	a: わかりにくい言葉や表現を辞書で調べている。 b:鑑賞文を作り、発表する。 d:それぞれの作品の情景や心情を理解している。 e: 短歌や俳句のリズムに注意して正しく音読できる。	a、b、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
3学期	小説	教材: 「山椒魚」 (すぐれた短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞法を習得する。)	○		○	◎	○	a: わかりにくい言葉や表現を辞書で調べている。 c:小説を読み、感じたことを適切に表現した文章を書く。 d: 場面ごとの山椒魚の心情の変化を理化している。 e:さまざまな表現技法について、その効果を理解している。	a、c、d、e: 授業の受け方と提出物の点検 定期考査
	文章表現活動	テーマ: 「自分史」 (卒業にあたり、これまで自分が経験したことや感じたことをまとめる。)	○	◎	◎			a:今までの経験をこまかに思い出し、積極的に文章を書いている。 b:周りの人の発表を聞き、交流を深める。 c:適切な表現方法を用いて文章を作成する。	a、b、c: 授業の受け方と提出物の点検
	言語活動	テーマ: 「手紙・メール・文書」	○	◎	◎			a:様々なコミュニケーションの手段の特性を知った上で，効果的な方法を考え、伝え方を身に付けようとしている。 b:効果的な方法について的確に説明できている。 c:ルールやマナーに則って作品を作っている。	a、b、c: 授業の受け方と提出物の点検

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。